



笑顔で過ごす取組み K様の事例から

社会福祉法人 特別養護老人ホーム 芦別慈恵園
学習療法委員 鈴木 悠司
西村 聖矢

年間のとりくみ

学習療法施設間交流会

「お客様の事を知り、気づきをケアに活かす。」



寸劇



事例発表



G討議

学習療法家族交流会

「学習療法の在り方」

～家族と共に、変わらない生活が続く様に～



ポスターの作成



学習療法実践研究シンポジウム

10月29日 名古屋国際会議場

「学習療法・脳の健康教室を活かす 伝える 学び合う
～チャレンジ&ネットワーク」



「認知症の服薬を中止したS様から学んだ学習療法」 ～出来る事を続けていく為に～



- ・服薬を中止した事で「学習が出来なくなった。」→職員の勝手な見方
- ・工夫する事で行なう事が出来た。→職員の関わり方でお客様が変化する
- ・S様から教えて頂いた事を大切に！→丁寧な関わり！

「寸劇を用いて、学習療法の活性化」 ～学習療法委員会の取り組み～



- ・職種や経験年数等、関係なく、1つの目標に向かい、結束が強まった。
- ・役を決めた事で「自分がやらないといけない。」→職員育成につながった。
- ・他人事だった委員会→自分事に変化。

K様の事例について。

脳梗塞を発症されたが、学習や様々な職員の関わりを通じて、自信を取り戻し、食事を自分で食べる事に繋がった事について

K様について

- ▶ K様 90歳 女性 要介護度:5
- ▶ 樺太生まれ。2人兄妹の姉
- ▶ 結婚をされ、4人の子供にも恵まれる。
- ▶ H24年、夫を亡くされ、息子様夫婦と同居
- ▶ 同年、腰椎圧迫骨折にて、入院
- ▶ 退院後、すばるのDS・笑和道夢のSSを利用されるが下肢筋力の低下があり、H28年9月に入居



入居すぐの様子

- ▶ ベッドで過ごされる事が多く、長時間の離床は困難
- ▶ 食事の時のみ、離床。
- ▶ 左手でスプーン、右手で器を支えて、食事。
- ▶ トイレは2名介助にて、誘導。転倒される事も。



- ▶ お客様同士の関わりを大切にされる方
- ▶ 自分が出来る事を考えられ、意思を伝えて下さる方
- ▶ 左手を上手に使いたい気持ちが強く

「手を使って、自分で名前を書く。」事を目標に学習を開始。



脳梗塞を発症

- ▶ 右手に軽度の麻痺。
- ▶ 声が上手く出せない状況。
- ▶ 「ご飯は食べたくない。」
- ▶ トイレ誘導→中止
- ▶ 「もうだめだ。」「情けない。」

K様をみて、行った事

- ▶ 今の状態を知って、自信を取り戻して頂きたい！
- ▶ 学習療法を行う。
- ▶ 学習の時は「車椅子に乗って、やりたい。」車椅子上での支援。
- ▶ 「今、出来ている事を伝える様に。」

K様の変化



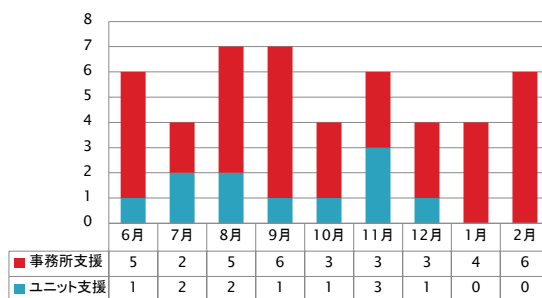
- ▶ 「車椅子に乗れて、良かった。」
- ▶ 独自に左手の運動を始めた。
- ▶ 左手で出来る事を増やそうとされる様子
- ▶ 食事の時に1回、ユニットの体操の時に1回
少しずつ、離床の機会を作っていく。
- ▶ ベッド上で水分を摂られる等、自分で出来る事を行なわれる。

学習から本人様の想いを知る

- ▶ 本人様が努力した事が自信になった。
- ▶ 「車椅子で起きたい。」
- ▶ 10月「ご飯も自分で食べたい。」
- ▶ 学習療法から、本人様の想いを知る事が出来た。



K様の月別支援回数



- ▶ 9月 ベット上で数秒端座位を保持
- ▶ 12月 介護技術委員会の実践
- ▶ 1月 端座位から立位保持の練習



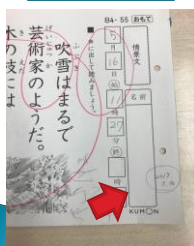
現在のK様

- ▶ 3食、車椅子で離床。
- ▶ トイレ誘導を再開。

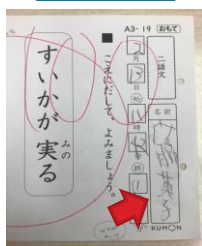


	入居当時の学習	現在の学習
支援方法	1対1支援	1対1支援
数字盤	20	30
名前日付の記入	日によって代筆	左手で記入

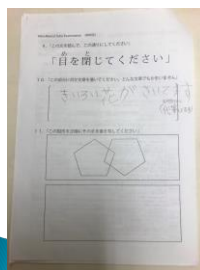
入居後



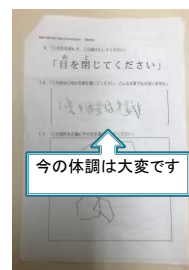
現在



MMSE→**26**
(H28/12時点)
FAB→**15**
(H28/12時点)



MMSE→**22**
(H30/3時点)
FAB→未実施



今の体調は大変です

K様の事例から

- ▶ 「出来ている事」を伝える事で自信とやる気につながった。
- ▶ 出来そうな事を職員と一緒に考える事で生活につながった。
- ▶ 門脇様がしっかりと伝えてくださった。
- ▶ ユニットにつなげる事は出来た。
- ▶ 伝える。発信する。他職種の協力。

一斉学習支援

- ▶ 6月～新人職員(支援を始めて、1年目)
- ▶ 9月～リーダー・サブリーダー
- ▶ 3月～実践士研修を受けた職員(今年度の新採用職員)



年3回、実施しました。

理由として・・・

- ▶「色々な職員の支援を見たい！」
- ▶「支援方法を統一して行こう！」
- ▶「良い緊張感を持ち、行えるはず！」等



回数を増加！



今後の取り組み

「学習療法委員会」

- ▶ 正しく、楽しく、頭の体操を行なう事で、自信を持って、笑顔で元気に暮らして頂く。

「個人」

- ▶ 今、行なっている一斉学習支援の活性化を図り、学習療法の定着を目指したい。

「誰でも学習を通じて、お客様と関われ、情報を共有する事が出来る。」



学習療法の強み

委員として

- ▶ 学習を行うお客様の「出来る事」を褒め、「やる気」に繋がられる様、工夫する。
- ▶ 学習で関わり、気づきをユニット+他職種に発信。



ご清聴ありがとうございました

